

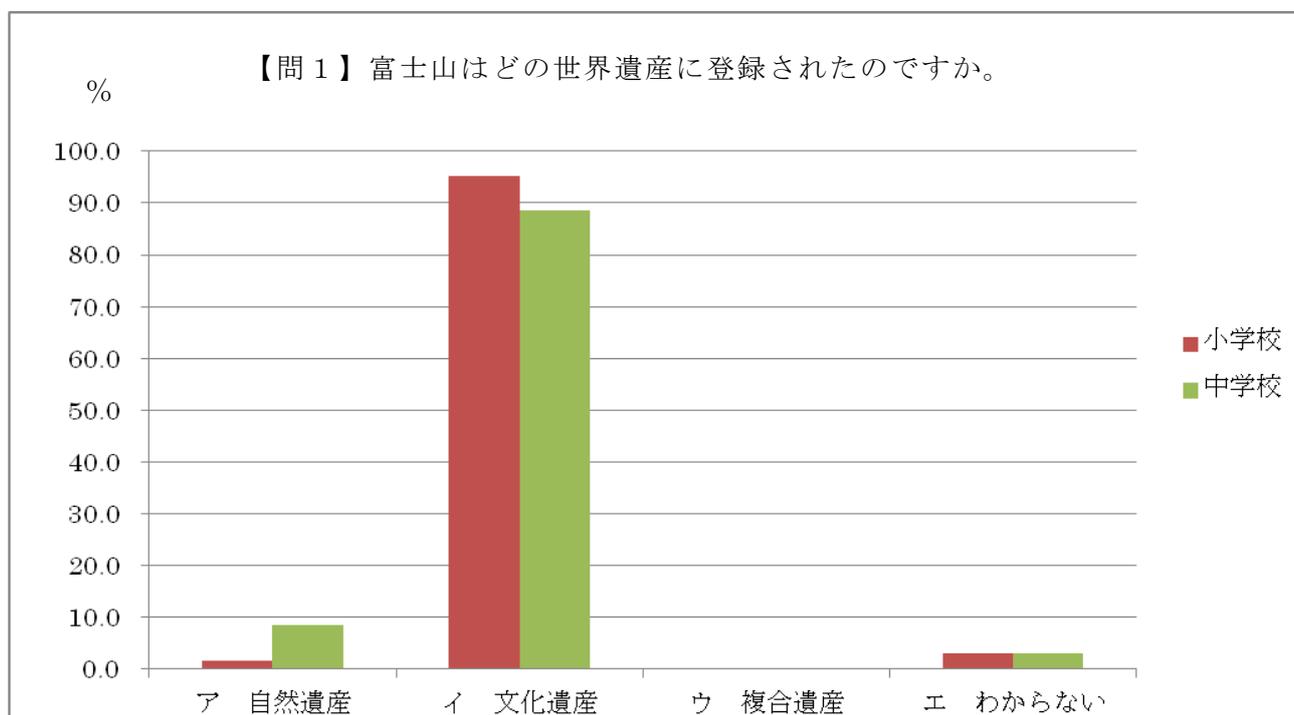
「富士山に関するアンケート調査」結果



＜富士豊茂小学校校庭から望む富士山＞

- 1 実施主体 富士河口湖町立教育センター
- 2 実施目的 富士山に関するご意見、お考えなどをお聞きし、これからの富士山学習の基礎資料とする。
- 3 実施対象 富士河口湖町内の全小学校5年生・中学校1年生の皆さん
小学校5年生 238名
中学校1年生 278名
(回答数)
小学校5年生 234名 (98.3%)
中学校1年生 269名 (96.8%)
- 4 実施時期 2013(H25)年 1学期中
調査日 6月24日(月)
集約日 7月2日(火)

問1 富士山はどの世界遺産に登録されたのですか。1つだけ選んで○でかこんでください。



<調査結果>

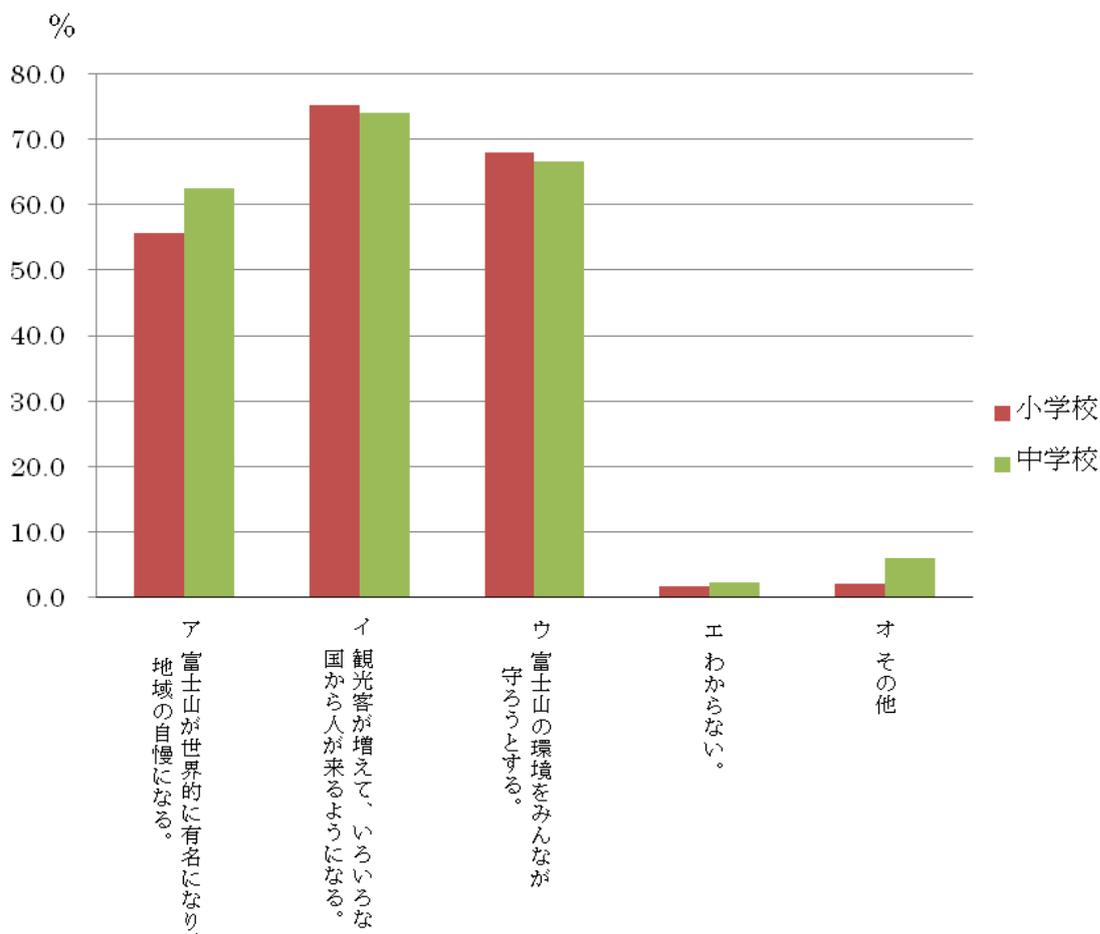
●富士山はどの世界遺産に登録されたかについては、小学生は「文化遺産」(95.3%)「自然遺産」(1.7%)「わからない」(3.0%)と回答している。中学生は「文化遺産」(88.5%)「自然遺産」(8.6%)「わからない」(3.0%)と回答しており、子どもたちにはほぼ認知されている状況であることがわかる。

■6月22日、富士山を世界文化遺産への登録可否を決める国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会は、富士山を世界文化遺産に登録することを決定した。名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」で、国内で17件目の世界遺産となった。これを受けて、20年来の悲願の果たした地元では、富士山が世界遺産へ仲間入りしたというニュースが、新聞やテレビなどのメディアで大々的に報道された。「文化遺産としての登録を目指していることを知っていた」という小・中学生が91.9%と多いのは、この報道によるところが大きいと思われる。このため、「最近知った」という子どもたちも多かったと考えられる。なお、富士山の世界文化遺産登録に関する認知度が中学生が88.5%であったのに対して、小学生が95.3%とほぼ100%に近い認知度であったのは、特別活動や総合的な学習の時間等でこの時期に、「富士山学習」を取り入れ、世界文化遺産登録について学んでいるところが大きいと思われる。

やはり、世界遺産には、地形や風景、生物の生息地などの「自然遺産」、建造物や遺跡などの「文化遺産」、「自然遺産」と「文化遺産」の両方に登録された「複合遺産」があることや、富士山が自然遺産としてではなく、文化遺産として登録された経緯及びその文化的価値についての理解を醸成する学習指導が必要と考える。

問2 富士山が世界遺産に登録されました。登録されたことでどんなよいことがあると思いますか。当てはまるものを○でかこんでください。（回答はいくつでも）

【問2】富士山が世界遺産に登録されたことで、どんなよいことがあると思いますか。

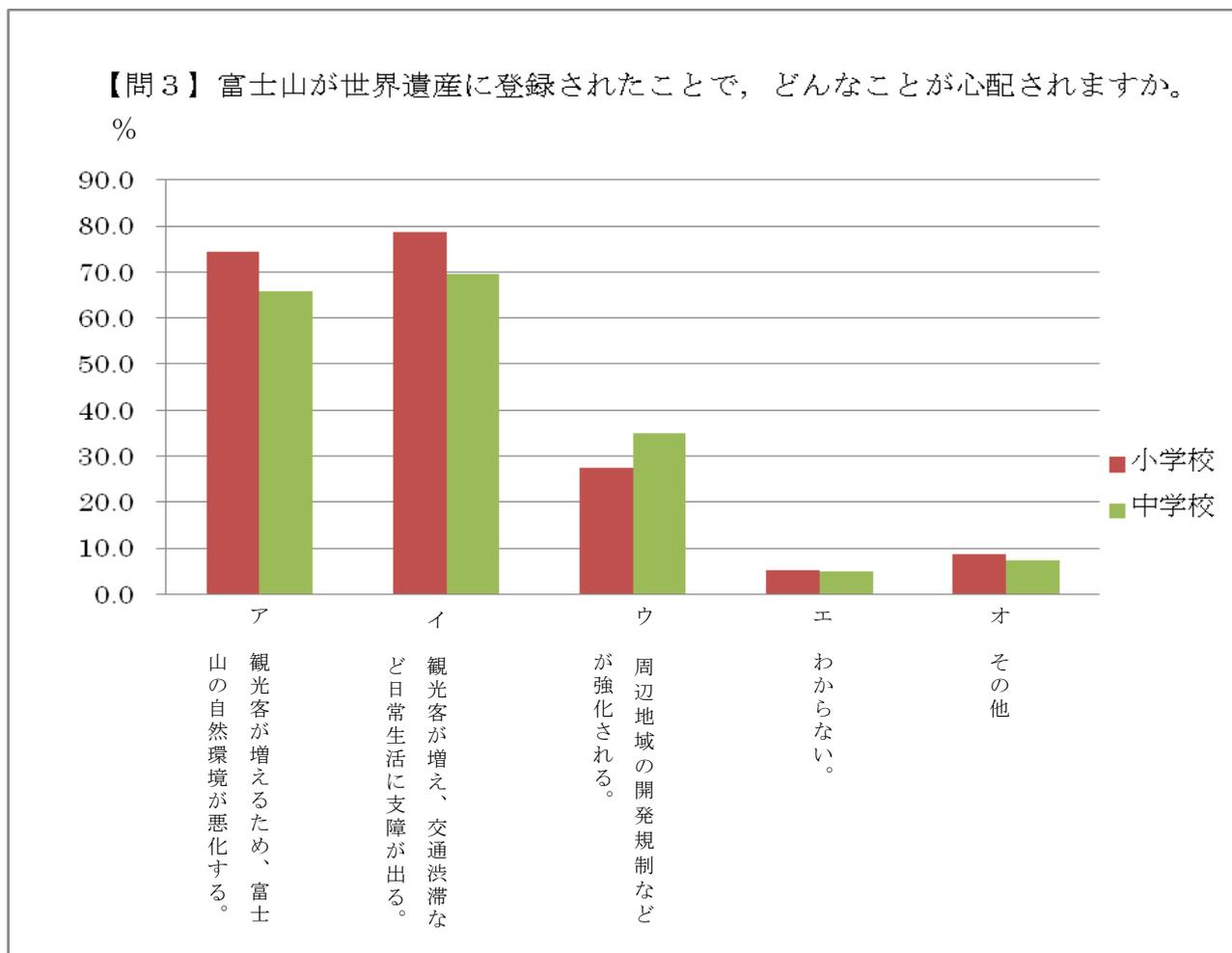


< 調査結果 >

●富士山が世界遺産に登録されたことでどんなよいことがあるかについては、複数回答で小学生は「観光客が増えて、いろいろな国から人が来るようになる」（75.2%）が最も多く、以下、「富士山の環境をみんなが守ろうとする」（67.9%）「富士山が世界的に有名になり、地域の自慢になる」（55.6%）の順となっている。また、「その他」（2.1%）として、「富士山のごみ拾いをして、きれいにするようになる」「お土産が売れる」などと回答している。中学生は「観光客が増えて、いろいろな国から人が来るようになる」（74.0%）が最も多く、以下、「富士山の環境をみんなが守ろうとする」（66.5%）「富士山が世界的に有名になり、地域の自慢になる」（62.5%）の順となっている。また、「その他」（5.9%）として、「国、県、町が活性化する」「富士山ブランドが多く売れる」などと回答している。どの選択肢も高い割合で子どもたちが回答しており、「富士山」が世界遺産に登録された場合の効果について、期待が大きいことがわかる。「環境を守ろうとする」「地域の自慢になる」といった精神面の効果と、「観光客が増える」「地域が活性化する」といった経済効果の両方が期待されていると考える。

■富士山が世界文化遺産に登録されたメリットとしては、観光客の増加等が見込まれ関連産業が活性化することがあげられるが、それ以上に、富士山と湖を代表する自然環境との調和のとれた、美しい街づくりが一番のメリットとも言われている。富士河口湖町は、古くから富士山と湖を観光資源とし、基盤産業である観光産業が栄えている。また、その秀麗な姿は、日本人の心の故郷として親しまれ、特に近年は富士山の世界遺産登録を目指してきた中で、環境保全も強く推進されている。富士山は、日本の象徴であり、この美しい山を後世に継承することが21世紀を生きる私たちの務めである。富士山とのかかわり、富士河口湖町に住む人々とのかかわりを通して、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子どもたちを育てていきたいと考える。

問3 富士山が世界遺産に登録されたことで、どんなことが心配されますか。
当てはまるものを○でかこんでください。（回答はいくつでも）



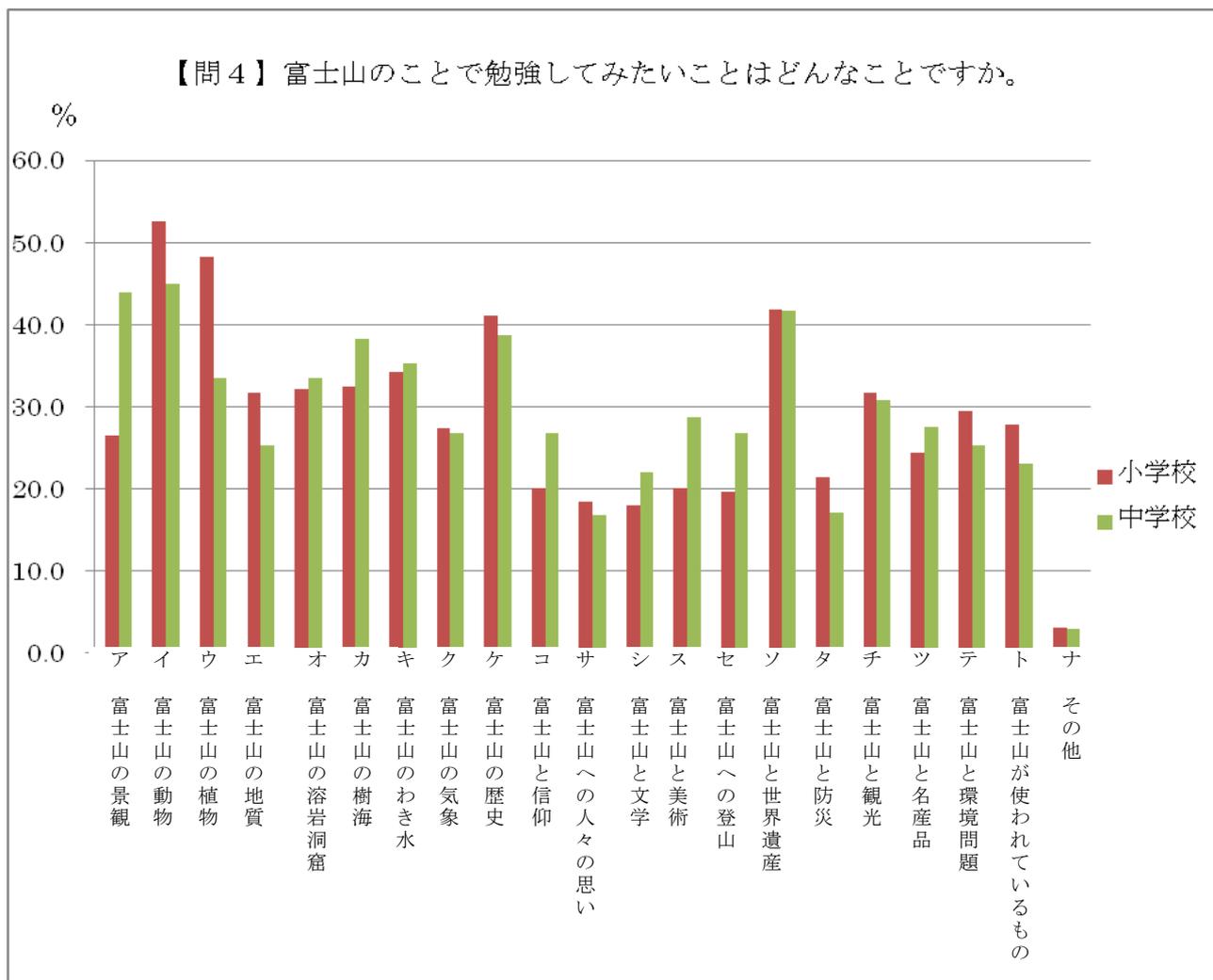
<調査結果>

●富士山が世界遺産に登録されたことでどんなことが心配されるかについては、複数回答で小学生は「観光客が増え、交通渋滞など日常生活に支障がでる」（78.6%）が最も多く、以下、「観光客が増え、富士山の自然環境が悪化する」（74.4%）「周辺地域の開発規制などが強化される」（27.4%）の順となっている。また、「その他」（8.5%）として、「観光客が増え、動植物が減る」「車が増え、空気が汚れる」などと回答している。中学生は「観光客が増え、交通渋滞など日常生活に支障がでる」（69.5%）が最も多く、以下、「観光客が増え、富士山の自然環境が悪化する」（65.8%）「周辺地域の開発規制などが強化される」（34.9%）の順となっている。また、「その他」（7.4%）として、「交通事故や犯罪が増える」「富士山が自然遺産でなく文化遺産で登録されたことを不審に思う人がいる」などと回答している。

■富士山が世界文化遺産登録されたことで心配されることについては、全体の73.8%の子どもたちが「観光客が増え、交通渋滞など日常生活に支障がでる」ことへの懸念を示しており、保護が進むことよりも悪化することを心配する子どもたちが目立っている。5合目へのマイカー乗り入れ規制の強化、環境保全対策の財源と入山抑制を目的とした入山料導入、また、構成資産の多くは五合目

以下にあるため、観光客の分散化等の方策など、交通渋滞緩和計画等を大人はもちろんのこと、子どもたちにも考えさせていく必要がある。また、全体の 69.8%の子どもたちが「観光客が増え、富士山の自然環境が悪化する」ことの懸念を示しており、登録を決めた世界遺産委員会から求められた登山者の管理計画をどう作るかを考えさせていく必要がある。さらに、全体の 31.4%の子どもたちが「周辺地域の開発規制などが強化される」ことの懸念を示しており、環境保全と地域振興のバランスをどう取るかを考えさせていく必要がある。心配されることへの意識の割合は高く、このことから環境を保護・管理するためには富士山の価値を正しく理解することが必要だと考える。また、それが交通渋滞や自然環境の悪化、開発規制など、環境整備にもつながっていく。こうした視点からも「富士山学習」に取り組んでいく価値があると考ええる。

問4 富士山のことで勉強してみたいことはどんなことですか。
 当てはまるものを○でかこんでください。（回答はいくつでも）



<調査結果>

●富士山のことで勉強してみたいことはどんなことですかについては、複数回答で小学生は「富士山の動物（ネズミ・ツキノワグマ等）」（52.6%）が最も多く、以下、「富士山の植物（高山植物・フジザクラ等）」（48.3%）「富士山と世界遺産」（41.9%）「富士山の歴史（あゆみ・噴火等）」（41.0%）「富士山の湧水（忍野八海等）」（34.2%）などの順となっている。また、「その他」（3.0%）として、「富嶽三十六景」「噴火の恵」などと回答している。中学生は「富士山の動物（ネズミ・ツキノワグマ等）」（45.0%）が最も多く、以下、「富士山の景観（風景・景色）」（43.9%）「富士山と世界遺産」（41.6%）「富士山の歴史（あゆみ・噴火等）」（38.7%）「富士山の湧水（忍野八海等）」（35.3%）などの順となっている。また、「その他」（3.0%）として、「富士五湖の歴史」「富士山と世界（外国）」などと回答している。「富士山」と一口に言っても、自然や環境はもちろんのこと、富士山が育んだ歴史や文化、宗教や芸術などさまざまな要素を含んでおり、改めて富士山を見つめ直すと、富士山は学びの宝庫であり、そこから掘り尽くせない学習素材がたくさんある。富士山が世界文化遺産に決まったこの時期に、富士山の存在や価値を体系的に学ぶ「富士山学習」を教育課程の中に位置づけていく必要があると考える。

■神聖で荘厳な姿の富士山は、独特の性質を持つ富士山信仰を育み、また、海外の芸術家にも影響を与えた浮世絵などの多くの芸術作品に取り上げられてきた。この信仰の対象・芸術の源泉である富士山は、日本と日本文化を象徴する「名山」として世界でも高く評価され、第 37 回世界遺産委員会において世界文化遺産に登録された。

私たち日本人にとってかけがえのない宝物となった富士山を、人類共通の財産として、未来に引き継いでいくために、まずは「富士山を知る」ことから始めていく必要がある。地元にながら、知っているようで意外と知らない「富士山」。世界文化遺産に登録されたことを絶好の機会として、次代を担う町の子どもたちに「富士山学習」を展開していく必要がある。

問5 外国の人に富士山の自慢をしたいと思います。どんなことを自慢しますか。

<調査結果>

●子どもたちから304件の自由意見が寄せられました。その一部をご紹介します。

【掲載意見の内訳】

- ①景観、自然に関することについて（194件）
 - ・日本一高い山でとてもきれいで、形も整っていること。
 - ・湖と一緒に見える富士の眺めの美しいこと。
- ②世界遺産に関することについて（69件）
 - ・富士山が世界遺産になったこと。
 - ・私たちが住んでいる山梨に、世界遺産の富士山があること。
- ③富士山の歴史に関することについて（14件）
 - ・たくさんの歴史があるすばらしい山であること。
 - ・富士山はいくつかの山が重なってできていること。
- ④富士山の動植物に関することについて（7件）
 - ・たくさんの生き物や動植物がいること。
- ⑤信仰、文化に関することについて（6件）
 - ・富士山に似ている山に「〇〇富士」と名前をつけたり、日本人の心のよりどころとされているところ。
 - ・富士山は昔から神の山とあがめられている。また、御師の家があること。
- ⑥噴火に関することについて（5件）
 - ・噴火でできた富士五湖があること。
 - ・富士山は何年も噴火を続け、今の自然豊かな山になったこと。
- ⑦その他（9件）
 - ・富士山の環境を守るために、町民が富士山周辺のゴミ拾いをしていること。
 - ・富士山に関するいろいろな物を売っていること。

■富士山は古来から多くの人々に親しまれ、愛されてきた日本のシンボルであり、我が国の文化や芸術の源泉ともなる日本人にとってなくてはならない存在である。登録はさまざまな課題を突きつけているが、何より重要なのは「世界遺産を持つ」という誇りを地元にもたらしたことである。これからの地域の未来を背負う子どもたちが人類共通の宝となった富士山を語る時、富士山の自慢話ができることで愛着も深まると考えている。「富士山学習」を通して富士山の自然や歴史を知り、富士山に誇りを持ち、故郷の自慢話ができる子どもたちを育てていく必要がある。本県では、すべての児童生徒、郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りをもてるような心情をより豊かに育むため、郷土学習を積極的に推進している。身近な自然や歴史、文化に親しむことにより、自分の住む地域をよく知り、大切に作る心を育てることは、豊かな人間性を育むとともに、社会の一員としての自覚を養うことにもつながると考えている。特に富士山の麓に暮らす私たちには、富士山とのかかわりを通して、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子どもたちを育てる責務がある。

問6 富士山学習をすることによって、町や自分のためになると思うことはありますか。

<調査結果>

●子どもたちから252件の自由意見が寄せられました。その一部をご紹介します。

【掲載意見の内訳】

- ①富士山の歴史・動植物等を知ることができるについて（58件）
 - ・いろいろなことが知れるし、いろいろな発見ができる。
 - ・富士河口湖町民として富士山を知るべきだから。
- ②環境問題に関することについて（56件）
 - ・富士山を汚さないようにする。きれいにしたいと思う。
 - ・富士山の環境にとって、いいことなどがわかるようになる。
- ③誇りに思える・大切に作る・好きになる等について（52件）
 - ・大好きな富士山を県外から来た人たちに、「富士山はこうできていて、こんなことをしているんだよ。」と言えることは、自分の中で誇りに感じる。
 - ・富士山を大切にしようという気持ちが、学習することでもっと高まると思う。
- ④自分が知ることで教えられる等について（51件）
 - ・観光客などの人に富士山について聞かれたときに、すぐに答えられる。
 - ・富士山を外国の人に紹介できる。わかりやすく教えられる。
- ⑤防災に関することについて（18件）
 - ・防災について学習することによって、自分や家族、友達を守れるようになる。
 - ・富士山の噴火にもかかわるから、町や自分のためになる。
- ⑥町の活性化に関することについて（10件）
 - ・観光客に自信を持って、あいさつをたくさんできるようになる。
 - ・勉強をしているいろいろ知って、町の人も協力してもらえるようにする。
- ⑦その他（7件）
 - ・富士登山をするときに役立つ。
 - ・英語がしゃべれるようになる。

■日本の宝が世界の宝になった。次代を担う町の子どもたちは「富士山学習」を通して、富士山の文化的価値を学び、富士山のすばらしさを体感することによって、富士山という高貴で美しい山を次世代に残す手がかりとすることができる。また、それは将来、富士山の環境保全に協力してくれる人を増やすことにもつながると考えている。富士山について知れば、富士山がもっと好きになり、好きになればもっと知りたくなる。そして、誰かに話したくなる。富士山に行きたくなる、大切な人を連れていきたいとなる。やがて「富士山を大切に作る心」が地域に育ち、それが次世代にまで繋がっていく。そんな輪が、どんどん広がって行って欲しいと願っている。そして、渡辺凱保町長さんの言う「世界遺産となった富士河口湖町が、住んでよし、訪れてよし、自然に優しく、人に優しいまちづくり」を目指していければと思う。

世界遺産登録によって、信仰の対象、芸術の源泉としての富士山の文化的価値が世界に認められました。私たちにとっては、素晴らしい資産を保護し、確実に後世へ継承していく責務が生まれたと言えます。職責を果たすために何をすべきか、その第一歩は富士山の価値について子どもたちと一緒に学ぶことと信じています。

教育センターでは、町内の子どもたちが構成資産を通して富士山の価値を知り、富士河口湖町の歴史・文化を学ぶことにより、郷土に愛着と誇りを持ち、文化や自然を大切にする気持ちを育んでいくことを願っています。

本年度は、『富士山学習研究会』を立ち上げ、富士山を中心とした歴史・文化・自然・芸術・観光等を体系的に学ぶ「富士山学習」の取り組みを開始しました。町内の児童・生徒を対象に実施した今回の「富士山に関するアンケート」の調査結果が、子どもたちや先生方の「富士山学習」充実に向けての動機づけ資料となることを期待しています。

本調査に当たり、ご協力をいただいた各学校や児童・生徒の皆さん、また集約してくださった先生方に深く感謝申し上げます。

富士河口湖町立教育センター研究員（「アンケート調査」協力）

原田 孝雄（船津小）	小山 博史（小立小）	三浦 武夫（大石小）
梶原 真希（河口小）	土橋みどり（勝山小）	今井富久雄（西浜小）
村上なおみ（大嵐小）	北嶋 千夏（豊茂小）	中村 稔（湖北中）
小佐野 親（勝山中）	坂本 裕司（西浜中）	坂本 幸雄（湖南中）

富士河口湖町立教育センター
担 当 武 藤 郁 夫
TEL 0555-83-3022
FAX 0555-83-3044
E-mail ed-center@kawaguchiko.ne.jp